

2013年2月15日 消防大学校 「図解コミュニケーション」

もっと深く勉強したいです。

今まで使っていなかった脳が少し熱くなって使えたように思います。

相手のレベルに合わせて語句を変化させれば図1枚を利用しできると感じました。

図で表すことで頭が整理され、キーワードを押さえれば忘れることもないし、説明にもメリハリができるということに気が付いた。

上から目線ではなく、鳥の目線で見ていきたいと思います。

予算編成時などに、この手法を積極的に活用していきたい。かなり頭を回転させますので、説明もピンポイントに行えそうな気がします。

本日の技法を消防学校教育で活用したいと思います。

図で考えることにより、明確に説明できることが理解できた。

文章を図で考えるという発想は、すばらしいと思いました。

コミュニケーションツールとしては大変興味深く、今後は、利用範囲を広めたいと思います。

他の人が表現した図解の良い所を吸収し、よりより図解コミュニケーションを実施していきたい。プレゼンで活用し技術・知識の伝承に努めたい。課題には、「キーワード」「関連性」「独自の考え」を入れるべきであった。

授業の前に本を読ませていただきました。班の課題学習の話し合いのとき、こっそりと「キーワード」と「図解」を使ってみたところ、あっさり同意が取れました。図解は公務員の必修、教育の手段としても活用可能。

グループ内で図を使って説明したときに、内容が伝わって、もっと深く知りたいという気持ちになりました。

訓練が必要だ。

ブログみます。

ボケ防止にもつながります。

新しい考え方を手に入れた様な気がします。今後の人生に変化があれば良いと思いますので、図で考える事を意識つけていきたいです。

図を書き始めると眠気が無くなった。説明するときには、頭の回転する音が聞こえた。

「本当は分かっていないのに分かったふりをしている」自分もその一人だと思います。図解を学ぶことで見えないものが見えてくるような気がします。活用していきたい。

51歳ですがこれからでも図解脳になれるよう勉強してみようと思います。鳥の目で見れるよう頑張りたい。

視点の中が広がりました。

今後、若手職員の教育に対して、何が目的なのかなどを図で書かせて考えをはっきりさせ、教育を行うことが有効であると思い実践してみたいと思います。

図解コミュニケーションがかなり有効な手法であると勉強になった。

今後はできるだけ若手職員には図を使って説明していきたい。

目からウロコです。勉強になりました。

五十路となり記憶力が低下していますので、図解として憶えたいと思います。

図解コミュニケーションは、視覚的直観的に頭に入り非常に分かりやすかった。この様な図解による説明は初めてであり新鮮だった。図を書くことで頭の中に深く入り込んで来ました。

図解メモを活用したいと思います。

初めての経験をいたしました。

うまく練習を進めれば図解で解りやすい書類が作れるような気がします。

先生のHPを見たいと思います。

自分の考えを整理することができ、他人にも説明しやすい事が分かりました。少しは成長できたかなと感じています。

目からウロコでした。研修の最初にご講義して頂いていれば、試験勉強に役立ったと思います。

4月から消防学校の教官になる予定です。図解で理解させ、長く記憶に残るようにします。

図解コミュニケーションの技法を使わせていただき、説明能力の向上に努めたいと思います。

図を書くうちに、「見やすく」、「分かりやすく」と考えるようになりました。

図解による表現は素晴らしいことだと思いました。

図で、4月から消防吏員になる息子にうまく消防を理解してもらおう。